

大地震が発生したとき、その直後にどう行動するかは極めて重要です。まず自分の身の安全を確保し、家族の状況確認、住戸の安全確認を行うこととなりますが、あわてず落ち着いて行動することが大切です。

「被災時行動表(家庭編)」は、大地震発生直後から3日間に各自がどのように行動したらよいかを時系列で示し、それぞれの時点での行動手順や注意事項、事前に備える事項等を「被災時行動シート」にまとめました。

個々の行動の項目には下表のインデックスを付けて行動表と行動シートとを関連付けています。時系列の記号について組織編のインデックスと整合させていますので、家庭編には「HD」と「HE」はありません。

	家庭編	組織編
被災直後	HA	—
被災後30分まで	HB	—
被災後1時間まで	HC	SC
被災後2時間まで	—	SD
被災後3時間まで	—	SE
1日目の残り時間	HF	SF
2日目, 3日目	HG	SG

前章(「1 今から始める家庭での備え」)とともに、よく理解して大地震発生時の行動に役立ててください。

被災時行動表（家庭編）

HA 被災直後		
	対応行動	平時の備え
HA1	自分自身の身の安全	家具の転倒防止, ガラス飛散防止フィルム
HA2	居合わせた人の身の安全に協力	
HA3	初期消火	宅内用簡易消火器の設置, 消火訓練への参加
HA4	消火できない場合は避難	
HA5	脱出経路確保	脱出経路の確認, 家具配置の確認, 家具の転倒防止
HA6	閉じ込められた場合は救助要請	緊急ホイッスル携帯, 緊急時個人情報保持
HB 被災後 30 分まで		
	対応行動	平時の備え
HB1	ガス漏れの確認・元栓を閉める	元栓のきり方, 再開方法の習得
HB2	電気製品電源切とブレーカー切断	ブレーカー切断方法の習得
HB3	水道管破裂確認・元栓を閉める	水道管元栓閉め方の習得
HB4	安全な場所へ避難	緊急持出用品, 地図, ヘルメット, 底の厚い靴など
HB5	軽症の手当て	救急医薬品の用意, 救急救命講習会への参加
HC 被災後 1 時間まで		
	対応行動	平時の備え
HC1	外出家族の安否確認	三角連絡法など, 連絡方法の家族間での取り決め 震災用携帯カードの常時携帯
HC2	自分の安全を他へ知らせる	同上
HF 被災 1 日目の残り時間		
	対応行動	平時の備え
HF1	自炊準備(冷蔵庫内の生ものに火を通す)	7 日分の食料と飲料水, カセットコンロとボンベ 食器, ラップ, アルミ箔等の備蓄
HF2	トイレ対策	7 日分の簡易トイレセット, 水洗用風呂水
HF3	照明対策	ろうそく, 懐中電灯, LED ランタンなど
HF4	室内の清掃, 被災生活スペースの確保	家具のない部屋の確保, ほうき, 塵取り, ガムテープ, がら袋, ブルーシート
HG 被災 2 日目, 3 日目		
	対応行動	平時の備え
HG1	自炊	HF1 参照
HG2	トイレ対策	HF2 参照
HG3	ライフラインの復旧	各設備(電気, ガス, 水道, 排水)復旧方法の習得

HA	被災直後の行動								
HA1	<p>自分自身の身の安全の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 強い地震の揺れを感じたときは、テーブルの下に入ったり、家具のない部屋に移動するなど、速やかに身の安全を確保するよう行動する 								
HA2	<p>居合わせた人の身の安全確保に協力</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の身の安全が確保できたら、居合わせた人の身の安全確保に協力する 								
HA3	<p>初期消火</p> <ul style="list-style-type: none"> 台所等で火を使用している場合は、速やかに火を消す → 動けないときは揺れがおさまってから 万一、火災が発生した場合は、落ち着いて消火器等で初期消火する 								
HA4	<p>消火できないときは避難する</p> <ul style="list-style-type: none"> 火が天井に届いてしまったときは、自分では消火は困難なので、消火をあきらめて避難する 避難後、119番通報する 周りの人に大きな声で“火事だー！！”と、出火したことを知らせる 延焼防止のため、窓は閉める → 錠(クレセント)はロックしない 延焼防止のため、玄関の扉を閉める → 鍵はかけない <p>※同じ棟で火災が発生した場合は、ベランダの洗濯物等の可燃物を室内に入れ、外部に面した窓や扉を閉めて、避難する</p>								
HA5	<p>脱出経路の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 玄関の扉や窓のクレセントを開ける 								
HA6	<p>閉じ込められたとき</p> <ul style="list-style-type: none"> 大きな声で助けを呼ぶ ホイッスルを吹いて、閉じ込められたことを室外の人に知らせる 								
<p>【平時に行っておく事項】</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 家具の転倒防止</td> <td><input type="checkbox"/> ガラス飛散防止(フィルム貼付)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 脱出経路確保の確認</td> <td><input type="checkbox"/> 家具配置を確認し、家具のない部屋を確保する</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 家庭用消火器の設置</td> <td><input type="checkbox"/> 初期消火手順の習得(消火訓練を体験する)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ホイッスル携帯</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 避難通路確保のため、ベランダの隣戸との「隔て板」の近くには物を置かない！</p>		<input type="checkbox"/> 家具の転倒防止	<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止(フィルム貼付)	<input type="checkbox"/> 脱出経路確保の確認	<input type="checkbox"/> 家具配置を確認し、家具のない部屋を確保する	<input type="checkbox"/> 家庭用消火器の設置	<input type="checkbox"/> 初期消火手順の習得(消火訓練を体験する)	<input type="checkbox"/> ホイッスル携帯	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 家具の転倒防止	<input type="checkbox"/> ガラス飛散防止(フィルム貼付)								
<input type="checkbox"/> 脱出経路確保の確認	<input type="checkbox"/> 家具配置を確認し、家具のない部屋を確保する								
<input type="checkbox"/> 家庭用消火器の設置	<input type="checkbox"/> 初期消火手順の習得(消火訓練を体験する)								
<input type="checkbox"/> ホイッスル携帯	<input type="checkbox"/>								



HB	被災後 30 分までの行動		
HB1	<p>ガス漏れの確認・元栓を閉める</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ ガス機器の運転を停止し、室内にあるガスの元栓を閉じる ▪ 玄関の横にあるメータボックス室(鉄製の扉)内のガスメータの元栓(バルブ)を閉じる 		
HB2	<p>電気製品電源 Off とブレーカーの遮断 (停電した場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 室内にあるすべての家電製品, 照明等の電源スイッチを切る ▪ 分電盤の左側にある契約電流用ブレーカーを切る <ul style="list-style-type: none"> * 停電のときブレーカーを切っておかないと, 電気が復旧した際に, 火災(通電火災)が発生する恐れがあるので, 必ず切ってください 		
HB3	<p>水道管破裂確認・元栓を閉める</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 玄関の横にあるメータボックス室(鉄製の扉)内の水道メータの元栓(バルブ)を閉じる 		
HB4	<p>安全な場所へ避難</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 火災の発生がなく, 室内の被災状況が軽微で, 余震の揺れに対する安全も確保できるときは, 自宅で被災生活する ▪ 家具の転倒で足の踏み場もない場合や余震の揺れに対して危険を感じる場合は, 一時避難所(旧ポンプ室)に避難する → 必要に応じて地域防災拠点(霧が丘小学校)に移動する ▪ 避難に先立って, HB1~HB3 を完了させた後, 窓と玄関を施錠の上避難する ▪ 地域防災拠点(霧が丘小学校)に避難したときは, GT4 災害対策本部の地域防災拠点担当者に避難したことを報告する 		
HB5	<p>軽症の手当て</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 被災時にけがをした場合は, けがの程度に応じて対処する ▪ 重症のときは, 助けを求め, 病院への搬送を要請する ▪ 軽症のときは, 自宅または災害対策本部で保管している救急薬品で応急処置をする 		
			
ガスメータ	水道の元栓	分電盤(ブレーカー)	
<p>【平時に行っておく事項】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得 <input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得 <input type="checkbox"/> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得 <input type="checkbox"/> 救急薬品の備蓄 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得 <input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得 <input type="checkbox"/> 救急薬品の備蓄 <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得 <input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得 <input type="checkbox"/> 救急薬品の備蓄 <input type="checkbox"/>		

HC1	外出家族の安否確認
HC2	自分の安全を他へ知らせる

- 家族で話し合っ決めて連絡方法で、自分の安全を知らせる
 - ・ 無事であること
 - ・ 避難場所
→ 自宅, 地域防災拠点〔霧が丘学園小学部〕, 職場, 学校, 通勤・通学ルートの避難所など

【例】要点のみを、手短かに連絡する

「〇〇〇です。家族は皆無事で、自宅にいます。落ちついたら連絡します。」

「〇〇〇です。皆自宅にいますが、◎◎◎だけ連絡が取れません。連絡が取れたら再度連絡します。」

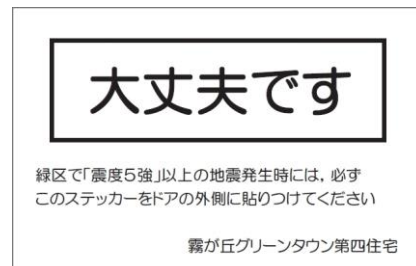
「〇〇〇です。(自分は)無事ですが、帰宅できないので△△△(職場)に待機します。」

「〇〇〇です。(自分は)無事ですが、□□駅近くの待機所で足止めです。電車の開通を待って帰宅します。」

- 家族の安否を表示し、災害対策本部や各棟の安否確認調査に協力する
 - ・ 配布されている「安否確認ステッカー」を玄関扉に貼って、安否状況と被災状況を知らせる
 - ・ 階段室または棟単位でステッカー表示のない居住者に声をかける



(赤地に白抜き文字)



(白地に黒文字)

安否確認ステッカー

※ 上記ステッカーは紛失しないよう、玄関扉の内側に常時貼っておいてください

- 必要に応じて、団地内の友人・知人などに安否や被災状況を知らせる

【平時に行っておく事項】

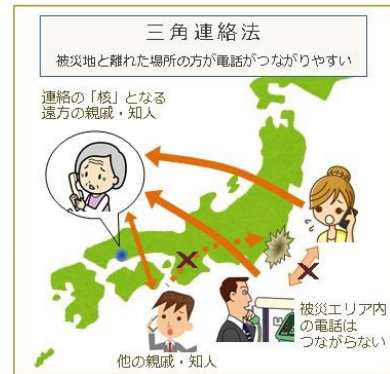
- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 家族で連絡方法を決めておく | <input type="checkbox"/> 核となる相手との約束(三角連絡法) |
| <input type="checkbox"/> 多めの10円玉(公衆電話用) | <input type="checkbox"/> 連絡方法のメモを常時携帯 |

※ 伝言ダイヤルは体験利用できる(毎月1日, 正月三が日, 8/30~9/5, 1/15~21)

【被災時の安否連絡・確認方法】

■ 三角連絡法

- ・あらかじめ約束しておいた「遠方の親戚や知人」に、自分および確認できた家族の安否を連絡する
- ・安否が確認できていない家族について、「遠方の親戚や知人」に電話して確認する
- ・被災エリアの家族同士の連絡はしない



■ 災害用伝言ダイヤル「171」

- ・被災地への通信が困難になった場合に NTT が提供する声の伝言板
- ・録音された伝言は、48 時間(2 日間)経過すると消去される
- ・一般加入電話、公衆電話、携帯電話、PHS などの電話でもかけられる
- ・伝言の録音と再生手順 (ガイドンスに従って操作する)

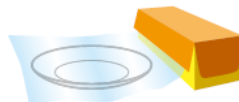
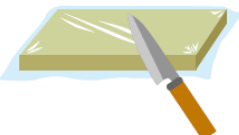

録 音	再 生
"171" ↓ "1" ↓ 被災地の固定電話番号 "045 XXX YYYY" ↓ "1#" (プッシュ式のみ) ↓ 伝言メッセージを話す(30秒以内) ↓ "9#" (プッシュ式のみ:メッセージが確認できる) ["9#" を押さずに電話を切ってもよい]	"171" ↓ "2" ↓ 被災地の固定電話番号 "045 XXX YYYY" ↓ "1#" (プッシュ式のみ) ↓ 伝言メッセージが流れる ↓ "8#" "9#" 又は押さない 前の伝言を繰り返す 次の伝言

■ 携帯電話の伝言サービス

- ・各社でサービス内容が異なるので、事前に操作方法を調べ、家族で連絡のルールを決め、メモする

【平時に行っておく事項】

- 災害用伝言ダイヤル「171」は、無料体験日が設定されているので体験しておきましょう
 - 毎月 1 日と 15 日、正月三が日 (00:00~24:00)
 - 防災週間 (8 月 30 日 9:00~9 月 5 日 17:00), 防災とボランティア週間 (1 月 15 日 9:00~1 月 21 日 17:00)

HF1	自炊準備										
<ul style="list-style-type: none"> ▪ 食中毒に注意する <ul style="list-style-type: none"> ・『菌をつけない』, 『菌を殺す』, 『菌を増やさない』 ・食材やまな板はできるだけ素手で触らない ・『菌を殺す』のは加熱が一番 → 直前加熱調理, つくりおきは再加熱を徹底する ▪ 水の使う量を減らす工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・紙皿, 割りばしなどの, 使い捨て紙食器を使う ・食器の中にラップを敷いて使う ・まな板にアルミホイルやラップをかぶせて, その上で食材を切る ・フライパンにアルミホイルを敷いて加熱調理する ・カップ麺やインスタント麺はできるだけ避ける (水の使用量が多い/残った汁が捨てられないこともある) ▪ 冷蔵庫内の食材管理 <ul style="list-style-type: none"> ・停電期間中はむやみに冷蔵庫の扉を開けない ・葉物野菜や生肉などの食材は, すぐに火を通しておき, 再加熱用調理食材として利用する ・冷凍庫内の食材を冷蔵室の最上段に移す → 冷蔵室の保冷と冷凍食材の解凍が同時にできる ・入りきれないときは, クーラーバッグを併用する ・平时にペットボトルに水を入れて凍らせておき, 停電時に冷蔵室へ → 溶けたら水として使用 ・賞味期限が近づいた食材や傷みやすい食材から食べることで食材を多く確保する ▪ 熱源はカセットコンロがベスト <ul style="list-style-type: none"> ・カセットコンロ用のボンベを備蓄しておく 											
<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">   </div> <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;">  </div> <p>【平時に行っておく事項】</p> <p>※『被災時に必要なものチェックシート』を用いて定期的に棚卸しする</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 水 (3ℓ/人・日 7日分程度)</td> <td><input type="checkbox"/> 備蓄食料 (7日分程度)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> カセットコンロ</td> <td><input type="checkbox"/> カセットコンロ用ボンベ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 紙皿, 紙コップ</td> <td><input type="checkbox"/> ラップ, アルミ箔</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 割り箸, スプーン</td> <td><input type="checkbox"/> ウエットティッシュ</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> クーラーバッグ</td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 備蓄食料は「ローリングストック」を実践！</p> <p>特別なものを用意するよりも, 普段の買い物で缶詰やレトルト食品など日持ちするものを少し多めに買っておき, 古いものから適宜消費し, その分を補充することで常に一定量の食料品を自宅内に備蓄する</p>		<input type="checkbox"/> 水 (3ℓ/人・日 7日分程度)	<input type="checkbox"/> 備蓄食料 (7日分程度)	<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> カセットコンロ用ボンベ	<input type="checkbox"/> 紙皿, 紙コップ	<input type="checkbox"/> ラップ, アルミ箔	<input type="checkbox"/> 割り箸, スプーン	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> クーラーバッグ	
<input type="checkbox"/> 水 (3ℓ/人・日 7日分程度)	<input type="checkbox"/> 備蓄食料 (7日分程度)										
<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> カセットコンロ用ボンベ										
<input type="checkbox"/> 紙皿, 紙コップ	<input type="checkbox"/> ラップ, アルミ箔										
<input type="checkbox"/> 割り箸, スプーン	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ										
<input type="checkbox"/> クーラーバッグ											

HF2

トイレ対策

- 排水管からの漏水がないことを確認するまで水洗トイレは使用しない！

- 排泄物の一時保管ボックスを用意する

- ・ 大型の樹脂製容器(蓋付)の内側にごみ袋をセットする
→ 樹脂製の衣装ケースがお勧めです(右図)
- ・ 容器がない場合は、ポリバケツや段ボール箱の内側にごみ袋をセットして、簡易保管容器を作る
- ・ 容器をベランダに置き、ブルーシートなどで雨がつかないように養生しておく



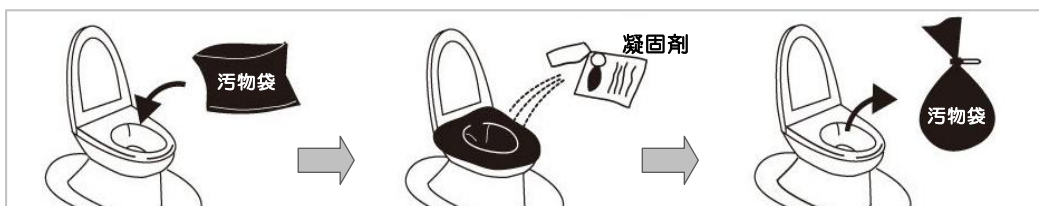
- 一般的な簡易トイレセット(汚物袋と凝固剤)の使用手順 (下図)

(この手順は、自宅トイレの便器を使用することを前提としています)

- ・ 自宅の便器に汚物袋をセットする
- ・ 排便・排尿後、凝固剤をふりかける → 排泄物が固まる
(固まった後、消石灰を振りかけておけば、滅菌効果がある)
- ・ 汚物袋を取り出し、袋の口を結ぶ
- ・ ベランダなどに設置した一時保管容器に入れる



簡易トイレセット
(汚物袋と凝固剤)



- 衛生面(手洗い, 消毒)に注意する

- ・ 手を洗うことが出来ないので、ウェットティッシュで手をキレイに拭く
(さらに、消毒スプレーで消毒する)
- ・ 常日頃以上に病気になるまいよう、家族全員の衛生に十分に気を配りましょう

【平時に行っておく事項】

※ 『被災時に必要なものチェックシート』を用いて定期的に棚卸しする

- | | |
|--|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレセット(7日分程度) | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ用凝固剤 |
| <input type="checkbox"/> トイレトペーパー | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 一時保管用容器 | <input type="checkbox"/> 消毒用の消石灰 |
| <input type="checkbox"/> | |

※ 簡易トイレセットは、防災用やドライブ用など、様々なものがホームセンターなどで販売されています。凝固剤のみのものもあります。被災時の使用法をイメージして準備してください。

※ 災害対策本部では、マンホールトイレやテント付き簡易トイレは設置しません。家庭用の簡易トイレがない場合は、地域防災拠点のトイレ使用となりますので、十分な数の家庭用簡易トイレを備蓄して、安心して自宅で過ごせるよう準備してください。

HF3

照明対策

- 室内の照明は懐中電灯よりランタン

- ・ 停電時の明かりを確保するには「懐中電灯」を連想するかもしれませんが、「ランタン」のほうが室内では役に立つ
- ・ 懐中電灯は何かを探したり、歩く方向を照らすなどの場合は効果的ですが、食事やくつろぐときなど部屋全体を照らすには照明の代わりに「ランタン」が便利



LED ランタン

- 調理などの作業にはヘッドライト

- ・ 料理や洗い物などの作業では、懐中電灯よりも手元を照らしながら両手が自由に使えるヘッドライトが重宝する
- ・ 家族構成によるが、同時作業を考慮して2個あると便利



LED ヘッドライト

- 乾電池の予備は多めに



- ・ LED 照明器具といえども、長時間使い続けると電池がなくなるので、乾電池は多めに用意しておきましょう
- ・ 充電器はソーラー式か手回し式を用意

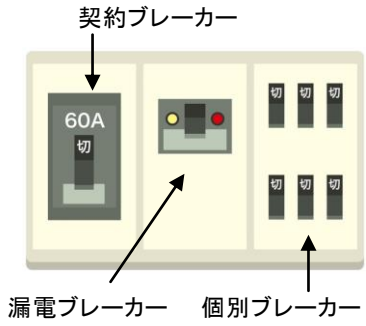

- 被災時は早寝早起き

- ・ できるだけ照明器具を使わなくてよいように、明るい時間帯に行動しましょう

【平時に行っておく事項】

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> LED 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> LED ランタン |
| <input type="checkbox"/> LED ヘッドライト | <input type="checkbox"/> 予備乾電池(多めに) |
| <input type="checkbox"/> 充電器 | <input type="checkbox"/> ローソク |
| <input type="checkbox"/> マッチ,ライター | <input type="checkbox"/> |
| <input type="checkbox"/> | |

HF4	被災生活のスペース確保								
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 被災生活は室内の掃除から <ul style="list-style-type: none"> ・ 掛け時計や花びんなどが落ちたり，食器などが飛び出したりして，ガラスや陶器の破片が散らばっている状況が想定される ・ 最初の作業は床，ソファ，ベッドの上などの「掃除」です ・ 細かい破片を集める際はガムテープが最適 ・ 掃除にはマスクつける ・ 集めたガラスや陶器の破片などは，破れにくい「ガラ袋」に入れて，ベランダなどに一時保管する <ul style="list-style-type: none"> → ガラ袋が必要な家庭には，被災時に災害対策本部から支給します ▪ 掃除した後，ブルーシートを敷く <ul style="list-style-type: none"> ・ 床を掃除した後にブルーシートを敷くことで，破片などを気にせず食事や身体を休ませる場所が確保できる <p>【家具のない部屋を確保しておこう！】</p> <p>建物被害のないマンションでも，片付けが間に合わなかったり，余震の恐怖から自宅で被災生活できない事例が報告されています。</p> <p>家具のない部屋を確保し，その部屋で寝起きすれば安心して自宅で過ごせます。</p> </div> <div style="width: 30%; text-align: center;">  <p>ガラ袋</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 65%;"> <p>【家具のない部屋を確保しよう】</p>  <p>家具のない部屋を確保しよう</p> </div> <div style="width: 30%;"></div> </div>									
<p>【平時に用意しておくもの】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 軍手(革)</td> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> ガラ袋</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ガムテープ</td> <td><input type="checkbox"/> マスク</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ほうき</td> <td><input type="checkbox"/> 塵取り</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> ブルーシート</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 軍手(革)，ガラ袋，ガムテープはガラス片などの掃除の必需品 普通のビニールのごみ袋ではガラス片で破れてしまうので，破れにくい「ガラ袋」が最適</p> <p>※ 軍手，ガラ袋，ガムテープ，マスクなどは，コンビニやホームセンターですぐに売り切れてしまう</p>		<input type="checkbox"/> 軍手(革)	<input type="checkbox"/> ガラ袋	<input type="checkbox"/> ガムテープ	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> ほうき	<input type="checkbox"/> 塵取り	<input type="checkbox"/> ブルーシート	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 軍手(革)	<input type="checkbox"/> ガラ袋								
<input type="checkbox"/> ガムテープ	<input type="checkbox"/> マスク								
<input type="checkbox"/> ほうき	<input type="checkbox"/> 塵取り								
<input type="checkbox"/> ブルーシート	<input type="checkbox"/>								

HG3	ライフラインの復旧						
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 60%;"> <ul style="list-style-type: none"> ■ 電気設備の復旧 <p>東京電力の電源供給が復旧したら以下の操作を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分電盤の契約ブレーカーと個別ブレーカーが切れていることを確認する ・すべての電気機器のコンセントを抜く ・分電盤の契約ブレーカーを投入し、一つの個別ブレーカーを投入する ・投入したブレーカーに配線されている部屋の電気機器を一つひとつ電源プラグをコンセントに挿入し、異常が発生しないかを確認 ・配線されているすべての個別ブレーカーについて、繰り返す ■ ガス設備の復旧 <p>ガスメータの復帰方法は資料編に記載されているので、そちらを参照して復帰させる。</p> ■ 水道設備の復旧 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 専有部給水管の漏水確認 <ul style="list-style-type: none"> ・室内のすべての給水栓(蛇口)を締める ・階段室の玄関横のパイプスペースにある止水栓(元栓)を開ける ・水道メータのパイロットが回っている場合は、「漏水」が考えられる ➢ 漏水がないことを確認してから、水の使用を開始する ■ 排水管からの漏水の有無を確認 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 点検口から漏水の有無を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・点検口がない場合は漏水を確認できない ➢ 下階の居住者に声をかけて、きれいな水を流してみる <ul style="list-style-type: none"> ・大量に流さないこと ・トラブルとならないよう、必ず下階の居住者の了解を得た後テストする ➢ 下階への漏水を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・数日後に漏水が発見されることもあるので、漏水が発見されたら直ちに排水を止め、修理を依頼する </div> <div style="width: 35%;">   </div> </div>							
<p>【平時に確認しておくもの】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得</td> <td style="width: 50%;"><input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 地震後の漏水事故は地震保険の適用対象外！（被害を受けた側の地震保険は適用されることもある？）</p> <p>※ 居住者が自ら漏水の点検ができるよう、リフォーム時や給水・給湯管更新工事のとき、可能な限り点検口を設けることを推奨します</p>		<input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得	<input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得	<input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> ガスメータの切断, 復旧操作方法習得	<input type="checkbox"/> 水道元栓の操作方法習得						
<input type="checkbox"/> 配電盤ブレーカーの操作方法習得	<input type="checkbox"/>						
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						